

ズツツ
ククク...

あの日ー...

ズツツ
ククク...

新任の先生を迎えー…



急ぎよ始まった性の宴ー…

二人の先生に挟まれて…



僕はこの世のものとは思えないほどの至福の時間を過ごした…

だがー...

この日は…それで終わりじゃなかったのだ

そー…話は

「原崎先生の壮絶な

ファーストキス」が

終わった直後…

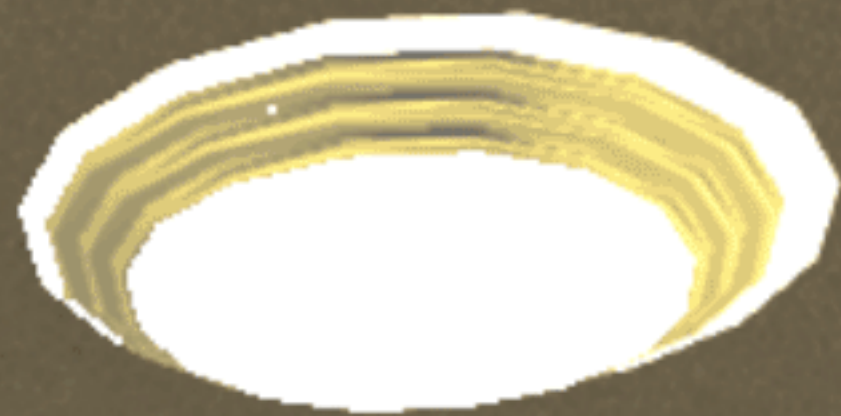


紫藤先生がとあることを

言い出したあたりから

再び動き出す…

ん
っ
…



あっ……んんっ……

……んんっ……

……んんっ……




そう…まあ
しょうがないわね

今からお風呂入る
わけにもいかないし…
我慢してそのまま
行きましょう



ダメ…です

やっぱり中から
溢れてきちゃう…

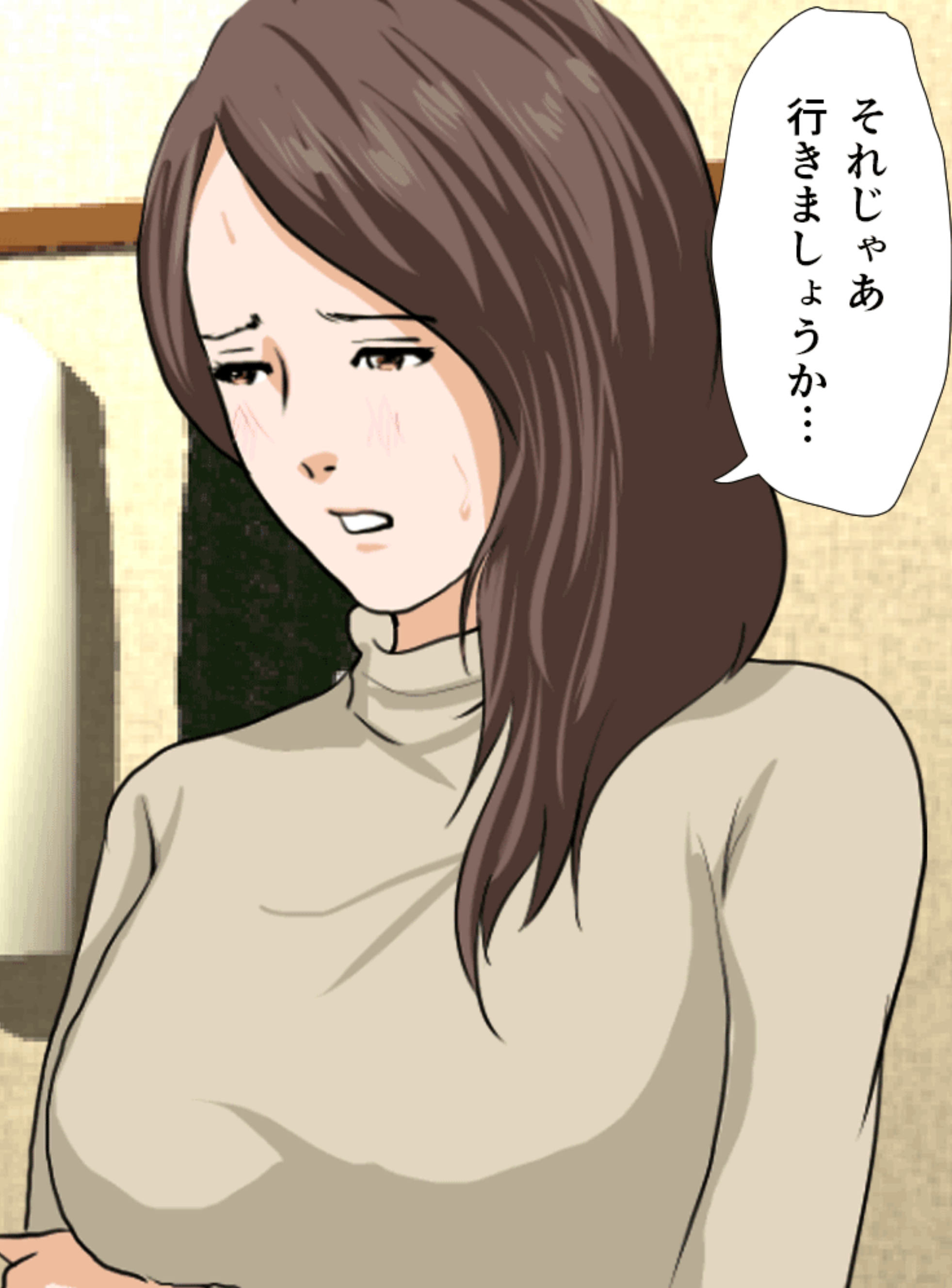


そんな…
そんな状態で
こ…婚約者さんの
前に…？



……しようがないわ…

ロングスカートだし
怪しまれない
でしょうし…うん…



その前に…
一ついいかしら

私から
原崎先生に
教育方針の指導…
ってわけじゃないんだけど…

……?
?

あなた…
まだ勘違い
してないかしら

で…でも
もう…大丈夫…

わ…私…ついに
先生になれたんだもん…
頑張らなきゃ…

今日から…
私もあなたの
性教育…頑張って
担当するから…

よ…
よろしくね…


なんかさっきの感じを
見てると…単に頑張って
性的な行為をするだけ…
って感じがしたのよね

あなたは：
彼に単に教育として
彼にセックスを教えるんじゃないのよ

あなたは：本気で
女性として彼のことを
好きになるの：
本気で彼に：恋をするの
それも含めての
性教育の授業ってこと…

……！





ほ…本気で好きにっ…？
本気で恋をする…？



性に関する授業…よ…


単にセックスする
だけじゃ
性の全てを学んだとは
いえないわ…

だ…だって
これは授業…
なんでしょ…！
なんでそこまで…

で…でも…わ…私…
彼氏がいますっ！
既にちゃんと
好きな人がいるんです！

ほらやっぱり…
それは私たちだって
そうよ

私には夫と子供が…
杜戸先生だって
婚約者がいるわ



私たちに本来の
愛する男性が
いようといまいと…
この授業をする上では
関係ないわ

私たちは
セックスするだけじゃなく
一人の女性として
彼を愛す…心も捧げなきや
だめ…よ…!

……!



私：前に彼に

「私の家庭を壊してもいいから

私たちとエッチして」

ってお願いしたの…

私たちは…

一人の女性として

身も心もそして人生も

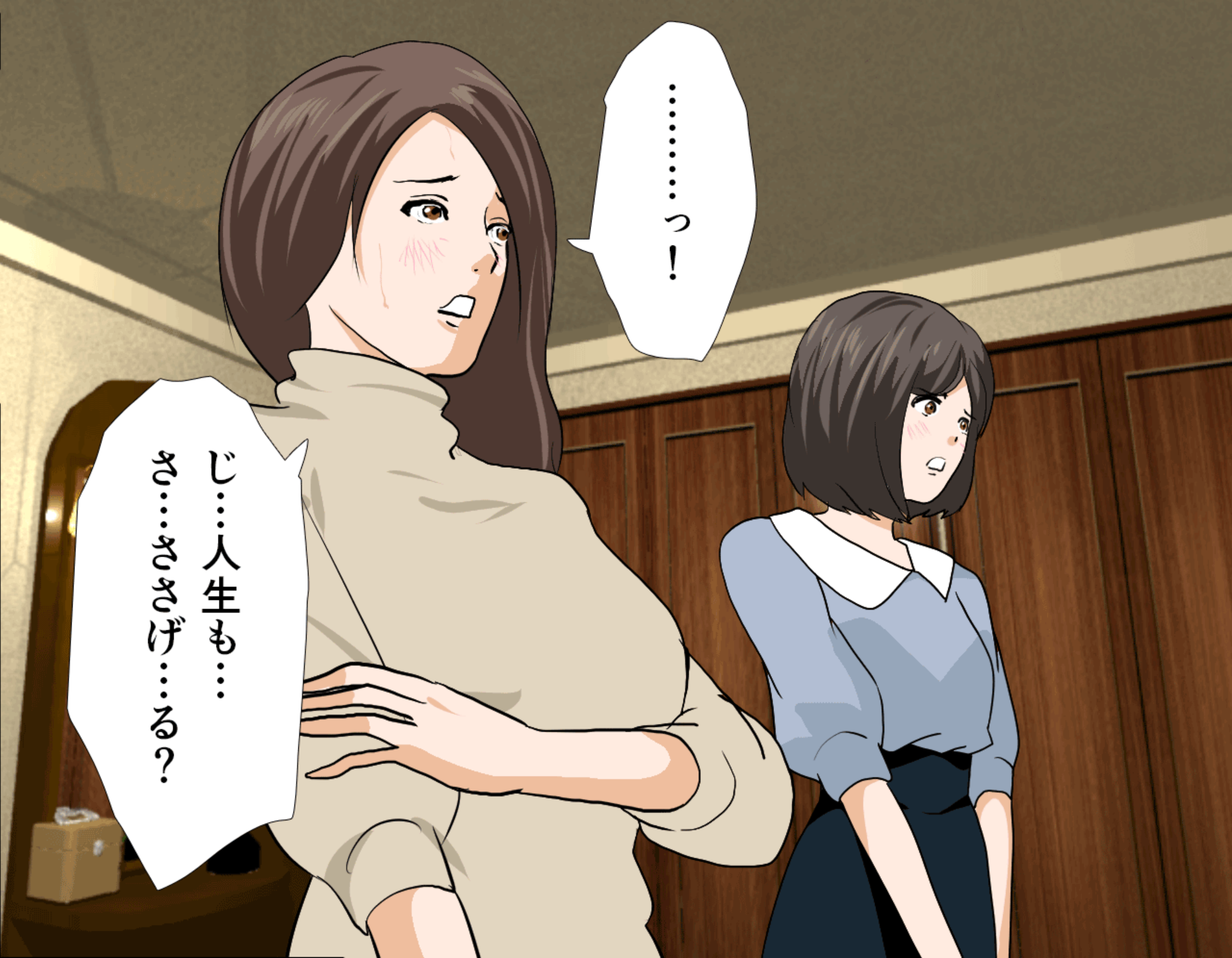
彼に捧げる…そうして


最後まで堪能してもらってこそ

本当の性教育なのよ…

じ…人生も…
あ…あ…あ…げ…る…っ…

……っ！

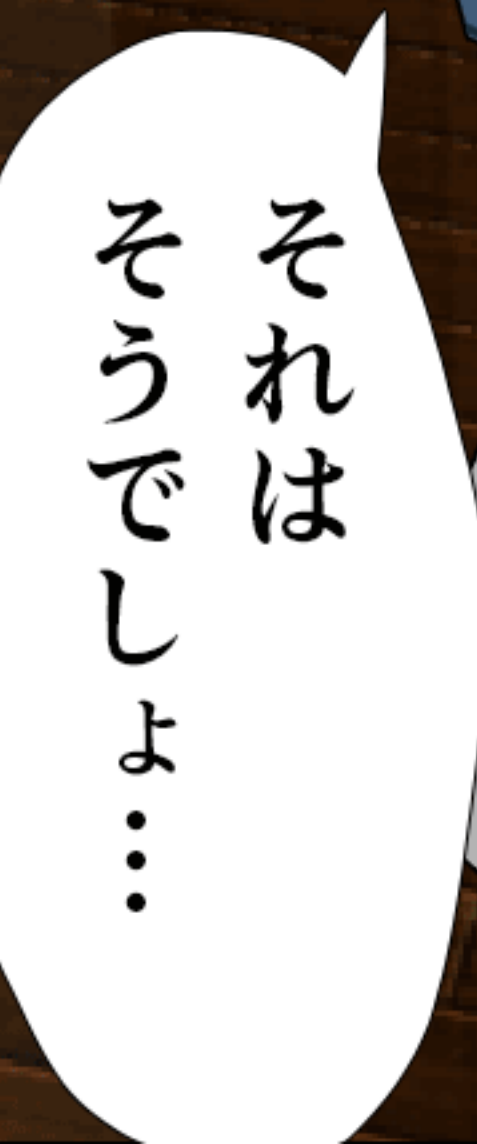




……っ！



あら……だっって




それは
そうでしょ……

……っ！

夫や婚約者や
彼がいる…私たちと
セックスをして…
子供を作る…

そうなれば
いずれ私たちの家庭は
無事ではいられない
じゃない…



彼には：
このチンポで
女性の人生すら
狂わせる：

そんな快楽を：
味わってもらおう：


結局：
私たちがしているのは
そういう行為なんだから：

ああ……せ……
先生たちの……
じ……人生を……

あなたに
彼氏がいろいろか
そんなこと
関係ないわ

彼氏との関係が
壊れたとしても……
あなたはこの子に
身も心も捧げて
セックスし……
妊娠もする

に……妊娠……っつ



そう……まさに
わ……私たち……3人の……
オンナの一生……を……
か……彼に捧げる……の……

単に機械的に
セックスを教えるだけでは……
何よりこの先……原崎先生……
あなた自身が耐えられなく
なるわよ

そうですね……？
ね……

杜戸……先生……？

……



.....

も…杜戸先生は
やっぱりまだ
どこか迷ってるんだ…!



そ…そう…ね…

そ…そうだ…わ…!




そ…そう…

でも…そんな…

こ…怖…い…!!

…!!


も…杜戸先生
すごい怖い顔で
睨んでる…!!



じゃ…そろそろ
行きましようか

君は
婚約者さんに
見つかったちゃ
マズいから
頃合いにこっそり
帰りなさい

そ…そう…
ね…

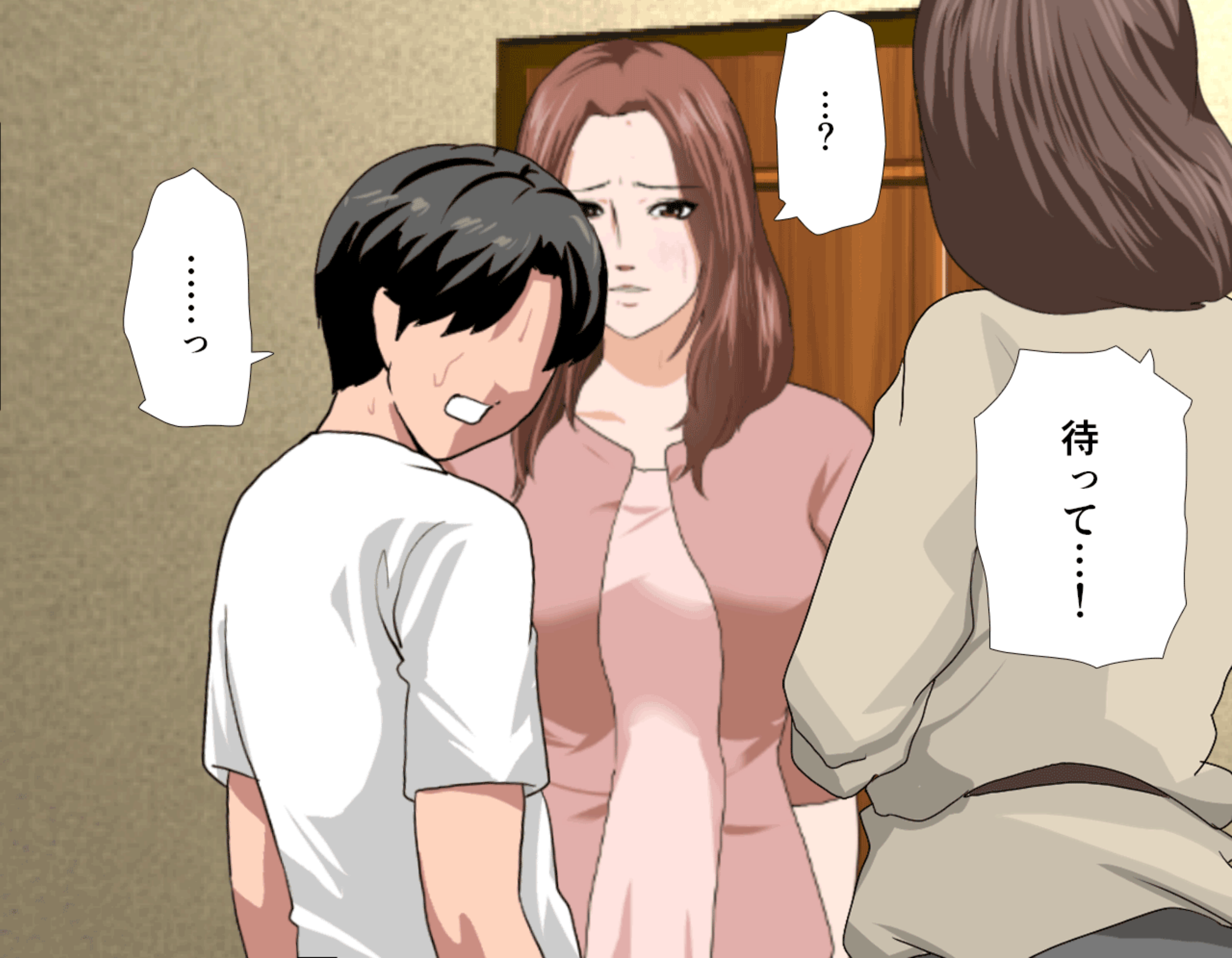



そ…そうだよな…
お腹すいたけど…

.....
う

.....
?

待って.....!





二人は
先に行つてて…

ちよつと
彼と話がしたい…
…から

ズツツ
ククク...

この時一...

ズツツ
ククク...

**この部屋にいる誰一人として…
気づいていなかったのだが…**



その頃ー…既に

廊下の奥の扉の向こうで…

ある事件が起こっていた

…さあ…

それはー…


その後の状況を

一変させるほどの

…


…

…事件ー



あなたに…
出会ったことを
忘れる…

わか…った…



では最後に…
私がこの部屋を
出た瞬間…

お前は私に
会ったことを
忘れる…いいな



この後…

僕らの「授業」は…

ふふふ…

また一つ

別次元のモノへと

変わることになる…

ふふふ…

それは…

僕や先生だけじゃなく…

ド
ン
ク
ク…

ド
ン
ク
ク…

その家族をも巻き込んだ…
恐ろしいものだった…!

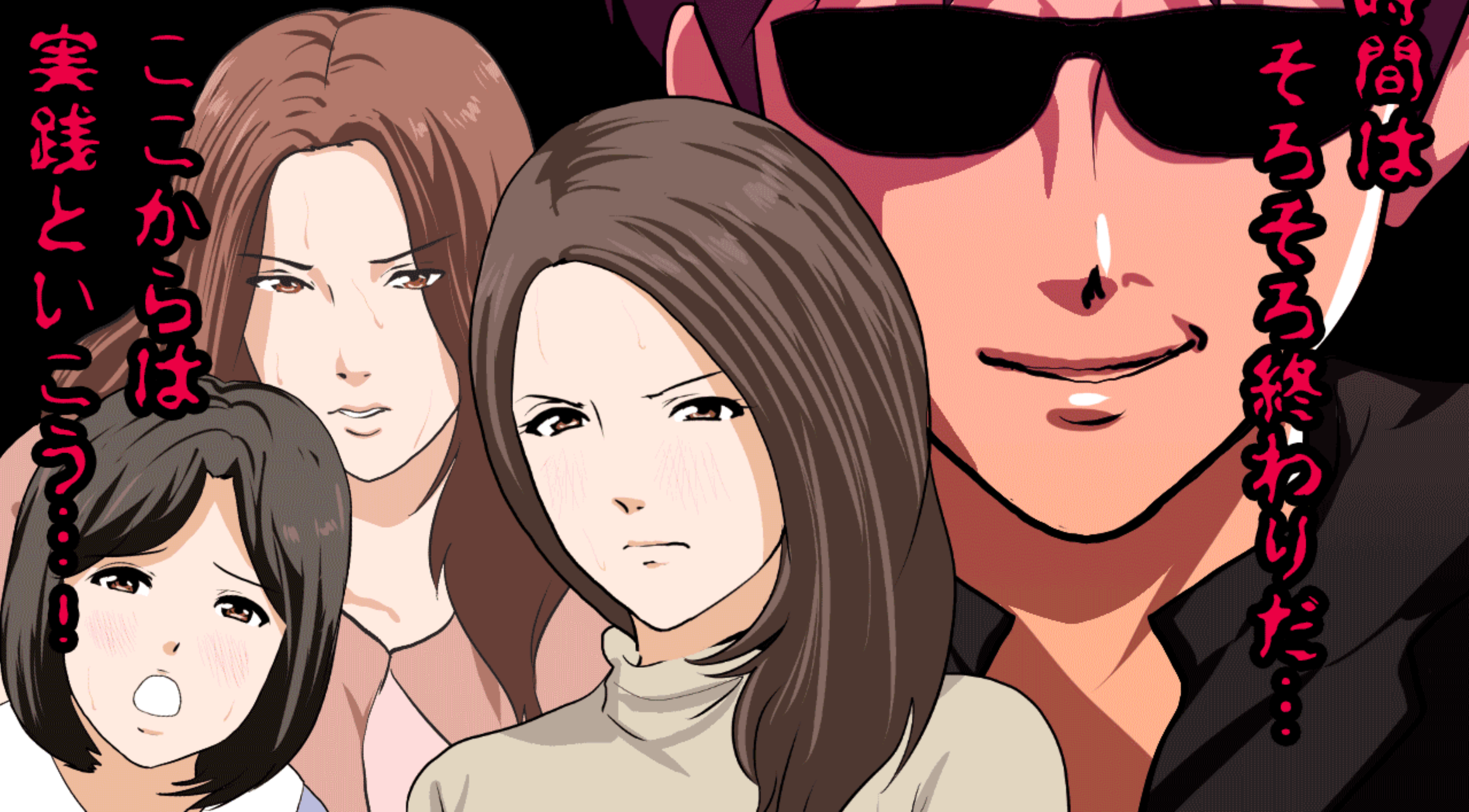
第八話 「実践」

催眠の教育

勉強あそびの時間は

そろそろ終わりだ……

実践とい……
ここからは



今はここまでとなります…続きは鋭意制作中！